

チーム

東中学校
女子バレーボール部通信
NO. 197号
1月 7日(火)

全国大会を見る中で…

- どのレベルであれ、ミスをしたチーム・逃げた選手は勝てない。
- 勝つチームには、言葉では表現しきれない『雰囲気』がある。
- 勝つチームには、必ず『柱』となる選手がいる。
- 攻撃には波があっても、レシーブには波がない。

明けましておめでとうございます。今年度は女子バレー部としても少し長い冬休みになりましたが、どういった過ごし方をしたのでしょうか。それぞれに課題をもち、自主練習に取り組んでいたことと思います。



さて、上に思いつくままに書き出したことは、先生がバレーボールの中学生の全国大会（JOC）を始めて見て、痛切に感じたことです。正直、みんなのやっているレベルとは格段に違います。しかし、20-20からサーブミスをしたり、打てるボールをアンダーハンドで返してしまったりするなど、ミスのレベルはみんなと変わりませんでした。そして、そういったミスをしたり逃げてしまったりしたチーム・選手は、勝ち切ることはできませんでした。

2週間後・1か月後の大切な大会で、
どういった気持ちでどんなプレーできるか、
それまでの過ごし方・
取り組みが問われます。日々の生活・練習を大切にしていきましょう。



【保護者の皆さんへ】

明けましておめでとうございます。昨日から新しい年の練習をスタートしましたが、子どもたちはとてもやる気に満ちた表情と姿勢で練習（練習試合）に取り組んでいました。時には厳しい言葉もかけましたが、私自身見ていて、とても微笑ましく感じました。各自で自主練習をした自信と、ご家庭で過ごす冬休みが、とても充実したものになっていたのでしょう。



さて、以前にお知らせしたように、とてもありがたいことに3学期も

1月18日（土）：一年生大会
（瀬戸尾張旭地区）

2月1日（土）：愛日大会
（冬季）

と上へつながる各種大会が予定されています。まずは、上能2つの大会に向けて、チーム一丸となって取り組んでいきたいと思えます。また、**1月11日（土）の午後には「親子バレー」**も予定しています。ぜひ、多数の方の参加をお待ちしています。

最後になりましたが、今年も女子バレー部の活動にご理解・ご協力よろしくお願ひします。